

5. 患者等に対する公費支援

- コロナ治療薬や入院医療費の自己負担分に係る公費支援については、患者の急激な負担増が生じないように配慮しつつ、見直しを行った上で継続する。

	9月までの取扱い	10月以降の対応
治療薬	コロナ治療薬の費用は 全額公費支援 (外来・入院)	➤ 他の疾病との公平性の観点も踏まえ、<u>自己負担なしの扱いから、一定の自己負担を求めつつ公費支援を継続。</u> ➤ 自己負担の上限額は、医療費の自己負担割合に応じて段階的に、 <u>1割の方：3,000円、2割の方：6,000円、3割の方：9,000円とする。</u> 3割の方でも、重症化予防効果のあるラゲブリオ等の薬価（約9万円）の1割程度（9,000円）にとどまるように見直す。
入院医療費	高額療養費制度の 自己負担限度額から 2万円を減額	➤ コロナの入院期間は、5類移行後、インフルエンザとほぼ同様な状態に近づいている。 ※平均入院日数 コロナ：約10日⇒約7日、インフル：約6日 一方で、診療報酬上の特例加算は見直されているものの、インフルエンザとはまだ差がある状況。 ➤ 他の疾病との公平性の観点も踏まえ、入院医療費については、<u>高額療養費制度の自己負担限度額から1万円の減額に見直して公費支援を継続。</u>

※冬の感染拡大に備える観点から、以下についても10月以降継続

- ・高齢者施設等における行政検査（陽性者発生時の検査、従事者への集中的検査）
- ・自治体が設置する受診相談（発熱時等の受診相談、陽性判明後の体調急変時の相談）の窓口への公費支援

（参考）新型コロナ医療費の自己負担イメージ

＜外来医療費＞

		～R5/5/7	R5/5/8～	R5/10/1～	完全移行後
		外来治療費、治療薬とも全額公費支援	治療薬は全額公費支援	治療薬は一定の自己負担（定額）	外来治療費、治療薬とも通常の自己負担
医療費の負担割合	1割 （住民税非課税、～年収約200万）	0円	1,390円 （うち薬剤費0円）	4,090円 （うち薬剤費3,000円）	8,000円（※）～10,520円 （うち薬剤費9,430円）
	2割 （年収約200万～約370万）	0円	2,780円 （うち薬剤費0円）	8,180円 （うち薬剤費6,000円）	18,000円（※） （うち薬剤費18,860円）
	3割 （年収約370万～）	0円	4,170円 （うち薬剤費0円）	12,270円 （うち薬剤費9,000円）	31,570円 （うち薬剤費28,290円）

【前提】75歳以上の例。治療薬は重症化予防効果のあるラゲブリオ（1治療あたり薬価94,312円）を想定
※高額療養費を適用

＜入院医療費＞

	～R5/5/7	R5/5/8～	R5/10/1～	完全移行後
75歳以上（1割負担） ※「～年収約370万」の所得区分には2割負担も含まれる。				
住民税非課税（所得が一定以下）	0円	0円	5,000円	15,000円（※）
住民税非課税	0円	4,600円	14,600円	24,600円（※）
～年収約370万	0円	37,600円	39,800円～47,600円	39,800円～57,600円（※）

【前提】コロナは7日間、インフルは6日間の入院を想定。治療薬代は除く
R5/5/8～は自己負担上限額を2万円程度、10/1～は1万円程度減額する公費支援を適用
※高額療養費を適用

(参考) 新型コロナ治療薬の概要

<各治療薬の薬価>

販売名	投与対象	現行薬価	1治療当たり薬価
ラゲブリオカプセル200mg	・軽症～中等症Ⅰ患者で重症化リスクを有する患者 ・入院・死亡を30-50%減少	2,357.80円	94,312.00円
パキロビッドパック600/300	・軽症～中等症Ⅰ患者で重症化リスクを有する患者 ・入院・死亡を89%減少	19,805.50円 (300: 12,538.60円)	99,027.50円 (300: 62,693.00円)
ゾコーバ錠125mg	・軽症～中等症Ⅰ患者 ・5症状の回復までの期間を1日短縮	7,407.40円	51,851.80円
ベクルリー点滴静注用	軽症～重症患者。軽症患者に使用する場合は重症化リスクを有する者	61,997.00円	247,988.00円※

※ 軽症患者に対して標準的な投与期間で使用した場合

<各治療薬の投与対象>

軽症		中等症Ⅰ		中等症Ⅱ	重症
重症化リスク:低	重症化リスク:高	重症化リスク:低	重症化リスク:高		
ゾコーバ	ラゲブリオ	ゾコーバ	ラゲブリオ		
	パキロビッド		パキロビッド		
	ベクルリー（点滴）				